

(お知らせ)

19.10.11

統合幕僚監部

平成19年度日米共同統合演習(実動演習)について

自衛隊は、次のとおり平成19年度日米共同統合演習(実動演習)を計画している。

1 演習の目的

我が国防衛のための日米共同対処及び周辺事態等各種の事態に際しての日米協力を必要とする自衛隊相互及び自衛隊・米軍間の連携要領を実動により演練し、共同統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

平成19年11月5日(月)～11月16日(金)

3 実施場所

- (1) 自衛隊・米軍の施設等
- (2) 我が国の周辺海・空域等

4 統裁官

- (1) 自衛隊：統合幕僚長 海将 齋藤 隆
- (2) 米軍：在日米軍司令官 空軍中将 ブルース A. ライト

5 演習参加部隊等

(1) 自衛隊

ア 陸上自衛隊

各方面隊、中央即応集団、警務隊等

イ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊、教育航空集団、システム通信隊群、補給本部等

ウ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空システム通信隊等

エ 各幕僚監部等

統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部及び航空幕僚監部

(2) 米軍

在日米軍司令部、在日米各軍司令部、第7艦隊、第5空軍、在日米陸軍、第3海兵機動展開部隊等

6 主要演習計画

訓練項目	実施場所	演習参加部隊等	
		自衛隊	米軍
警護出動	米軍基地	陸自、海自、空自	陸軍、海軍、空軍、海兵隊
後方地域搜索救助活動	我が国周辺海空域及び基地等	陸自、海自、空自	空軍
弾道ミサイル対処訓練	我が国周辺海空域及び基地等	陸自、海自、空自	陸軍、海軍、空軍
機動展開のための輸送	九州周辺から九州南西域に至る海空域及び基地等	陸自、海自、空自	海軍、空軍
島嶼侵攻対処	日出生台演習場、九州地区の基地等	陸自、海自、空自	-
在外邦人等輸送	美保基地等の航空基地	陸自、海自、空自	空軍
陸上作戦（海兵隊との実動訓練）	日本原演習場	陸自	海兵隊
海上作戦	我が国周辺海空域及び基地等	陸自、海自、空自	海軍、空軍
航空作戦	我が国周辺空域及び基地等	海自、空自	海軍、空軍

7 参加規模

- (1) 自衛隊：人員約 22,500名、艦艇約 90隻、航空機約 400機
- (2) 米軍：人員約 8,500名、艦艇約 10隻、航空機約 50機